

施策4-1-5 自然に配慮した都市景観の誘導

担当課 都市計画課

施策が実現できたときの状態について、平成24年度での到達状況

【一部達成した】

滝沢村は、岩手山麓の自然景観、平地の田園風景、都市景観まであり、とりわけ岩手山の眺望を基本として景観づくりが求められています。このことから24年度においては、地域デザインの見直しと歩調をあわせ、各地域の景観形成方針について一部地域住民の意見を聞き、滝沢村景観形成基本方針の素案を見直しました。また岩手山麓地域は、景観重点地域として県指定の下に建築物等の建築規制を行い、景観の保全形成に努めています。住民による景観に関する取り組みは、柳沢地区を除いて地域の景観づくりを進めているとはいえない状況にあります。

3ヵ年方針のうち、平成24年度の重点課題の達成(実現)状況

【概ね達成した】

滝沢村景観形成基本方針の素案を策定するにあたり、景観に関する住民意識調査を実施しました。今後は各地域のまちづくり委員会から意見を聞き、滝沢村景観形成基本方針を策定します。

施策目標の達成(実現)に向けた3ヵ年の取組みと方針についての達成(実現)状況

【一部達成した】

景観の取り組みは、住民に対して「景観形成の関心を高める」「景観形成の活動を後押しする」「地域で景観のルールを作る」の段階を踏んで進めようとしていますが、現在は柳沢地区だけの活動支援に留まり、その他地域に活動が拡大していない状態です。

施策目標値の達成状況

